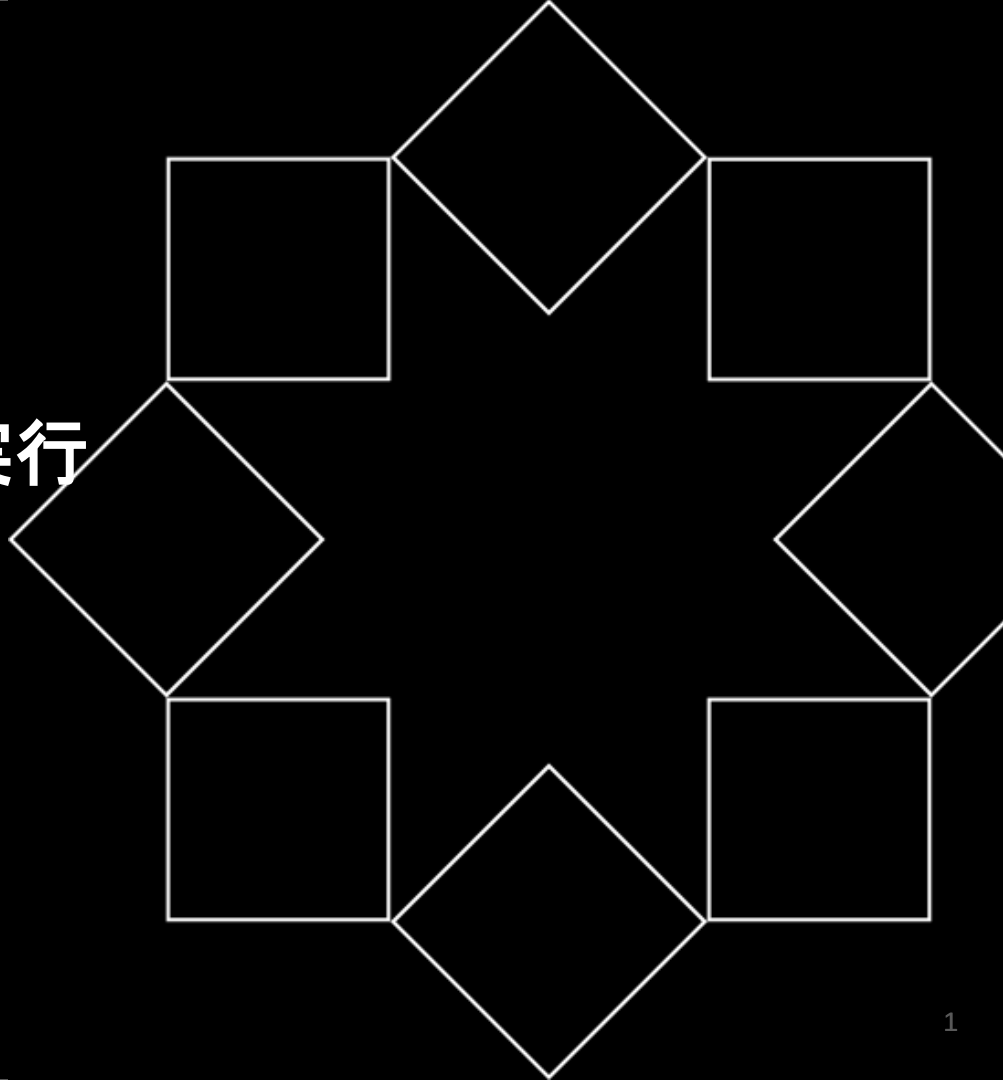
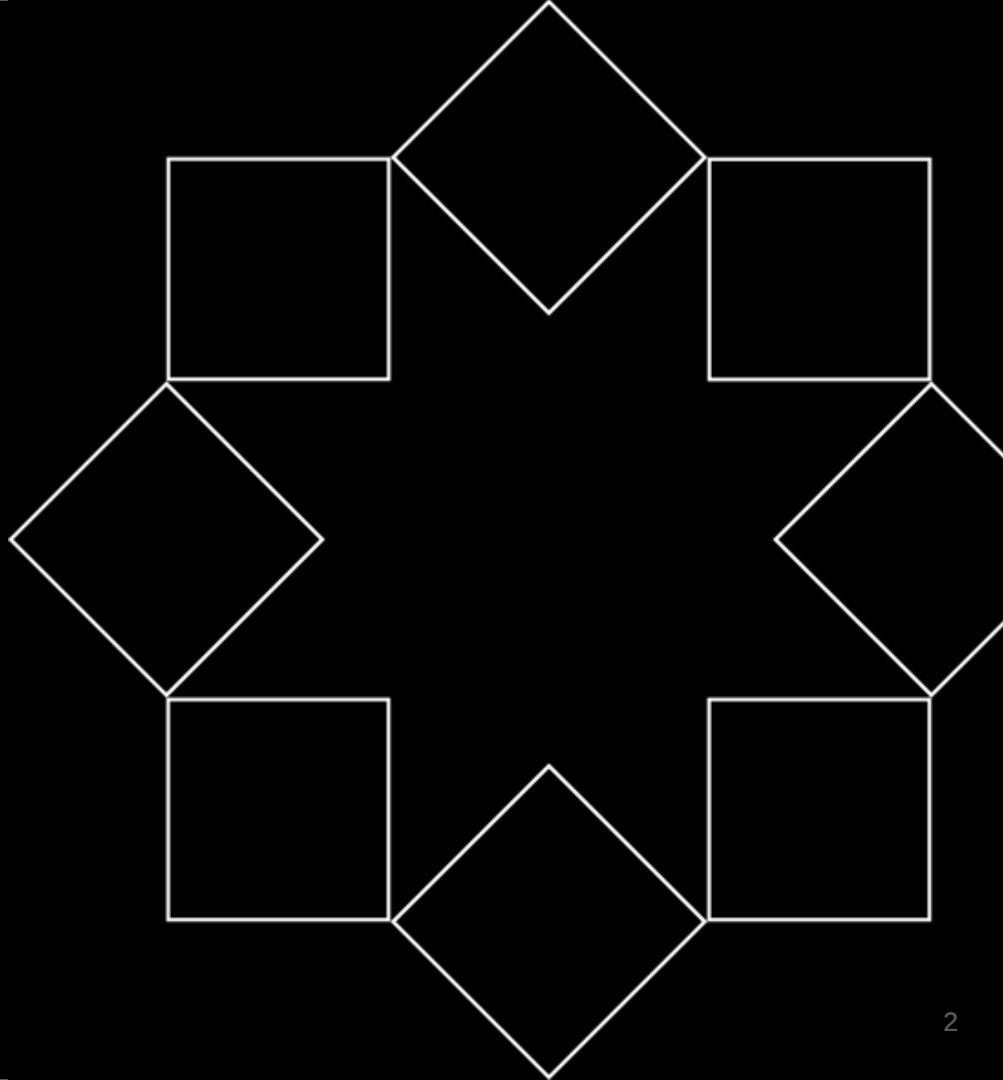


公共財の立上げ戦略と実行

✧ STARTALE



Astarエコシステム 開発インサイト

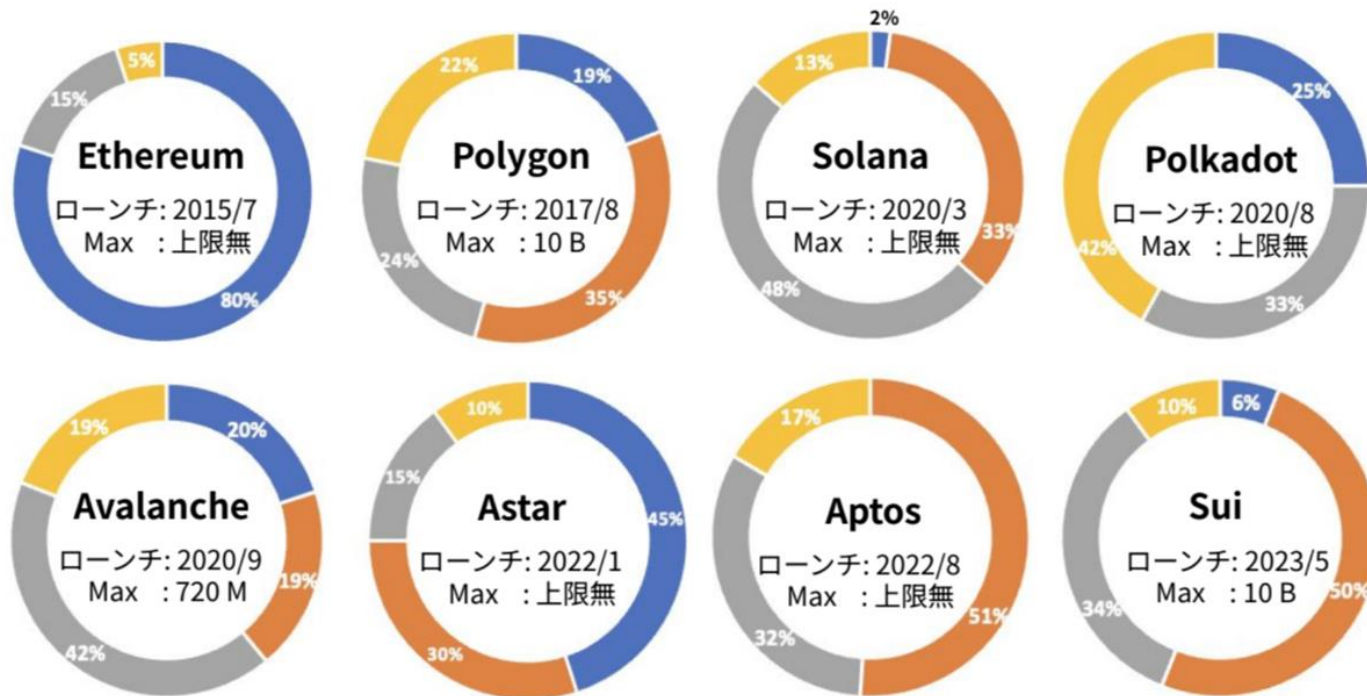


プラットフォームの技術性能で勝敗が決まる時代からアプリケーションの強さやエコシステム全体のネットワークエフェクトで勝敗が決まる時代に移りつつあります。

	テストネットフェーズ	メインネットローンチ	トークン発行	メインネットフェーズ
必要人数	～30人	～40人	～40人	60人～
詳細	テストネットワークの開発 ネットワーク戦略策定	メインネットワークのローンチ 開発者とプロジェクトの呼び込み	トークンの リスティング	メインネットワークにおけるエコシステム 開発、マーケティング
社外Key Partners	他のL1/L0を開発する財団	Alchemy, Chainlink, The Graph, LayerZero, Wormhole, Blockdaemon, などインフラの ブルーチッププロジェクト ローンチ時に「見せ球」のアプリケーションは 複数必要	Binance, Coinbase などの暗号資産取引所 GSRなどのマーケット メーカー	Uniswap, OpenSea, USDT, USDC, などのDeFi, NFTアプリケーションブルーチッププロジェクト
KPI	マーケットでの認知度 資金調達額 ネットワークの安定稼働性 戦略的バリデーターパートナー数	dApps数 月間アクティブユーザー数	リスティングされた暗号 資産取引所数 トークンペア数(JPYペア など)	TVL 月間アクティブユーザー トークンの価格
Key Successful Factors	Tier1のVCからの資金調達 戦略的な初期バリデーターの巻き込み 財団設立、財団からの助成金スキーム構築	コアインフラプロジェクトの戦略的なイ ンセンティブ付与による巻き込み Ethereumなどからのステーブルコイン を含む流動性を確保するための導線複数 作成	初期供給量を低く設定 し、トークンを売れない 状態を作る。このこと によってトークン価格 を安定化を図る Binanceからリスティ ングを始める	取引所から直接USDCやUSDTを送受信できる導線確保 EthereumのTier1プロジェクトの巻き込みとエコシステムネ イティブプロジェクトの戦略的な支援(流動性提供など) エコシステムファンドの作成、キラーユースケースの作成 バランスのとれたトークンエコノミクス

- ビットコインやイーサリアムのような初期の分散思考の基づく配布ではなく、ローンチ時の財団が管理できる割合が増え、レイヤー1のプロジェクト自体がビジネス化されている傾向があります。
- トークンを発行する際は、初期トークンの配分をソニーが多く管理するためのコミュニティ、チーム・投資家、財団等への配分比率が検討対象となります。

初期アロケーション

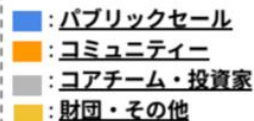


凡例

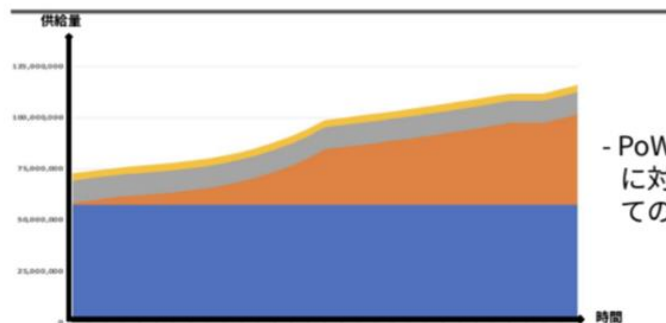
- パブリックセール**
ローンチ前にICO、IEO、エアドロップなどで販売/配布したアロケーション
- コミュニティ**
ローンチ時に財団に属しエコシステムのためのファンド等で、最終的にコミュニティに渡ることになるアロケーション
- コアチーム・投資家**
チーム、会社、VCが購入もしくは配布されたもの全てを含むアロケーション
- 財団・その他**
財団、コミュニティが運営する助成金プール、またはテスト参加報酬のような他のインセンティブのアロケーション

- トークンが各ステークホルダーへ平等にかつ適切なタイミングで分配される供給量とスケジュールが望ましいですが、特定の決まったルールはないと言えます。

凡例

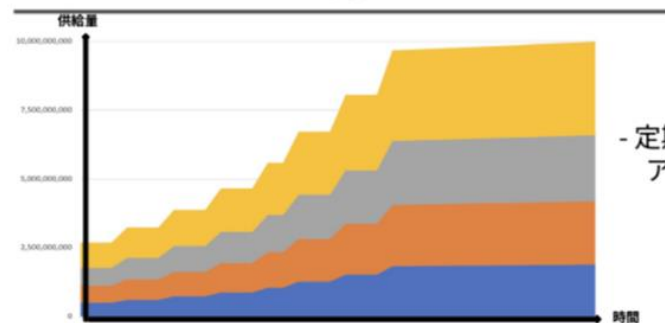


Ethereum



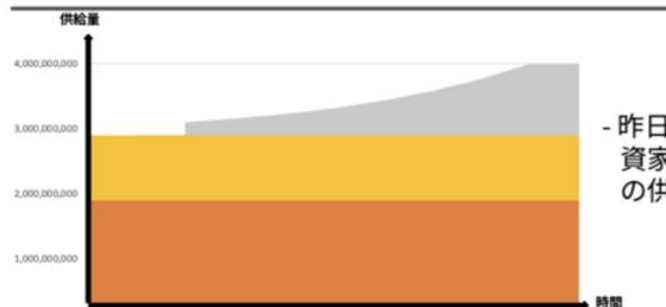
- PoWに対する貢献
に対する報酬とし
ての供給

Polygon



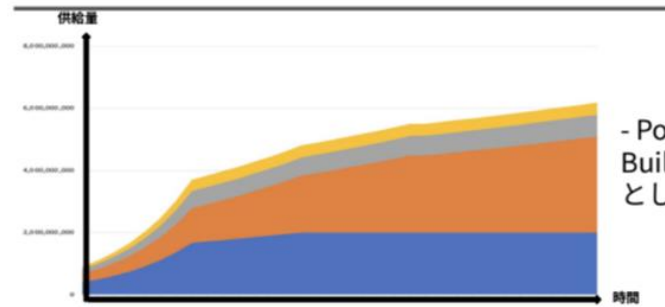
- 定期的に一定額を
アンロックし供給

Optimism



- 昨日、チーム・投
資家へのトークン
の供給を開始

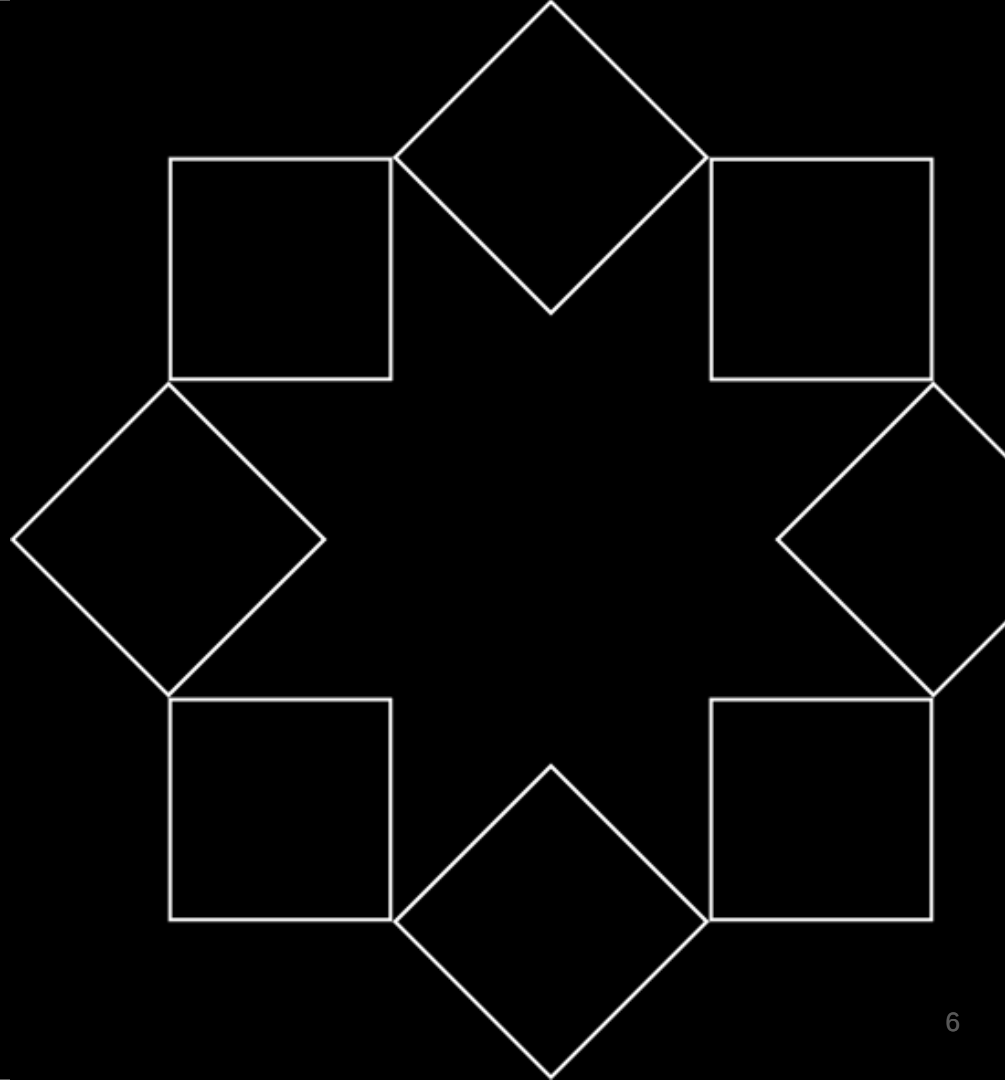
Astar



- PoSに対する貢献と
Build2Earnへの報酬
としての供給

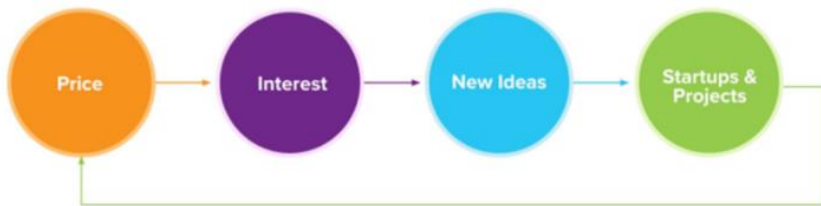
※グラフはデータを参考にしたイメージ

エコシステム開発の戦 略と実行



- エコシステム作成において一番重要なのはネットワーク効果です。
- ブロックチェーンエコシステムにおいては2つの力学が存在しています。

a16zの提唱する暗号資産価格サイクル

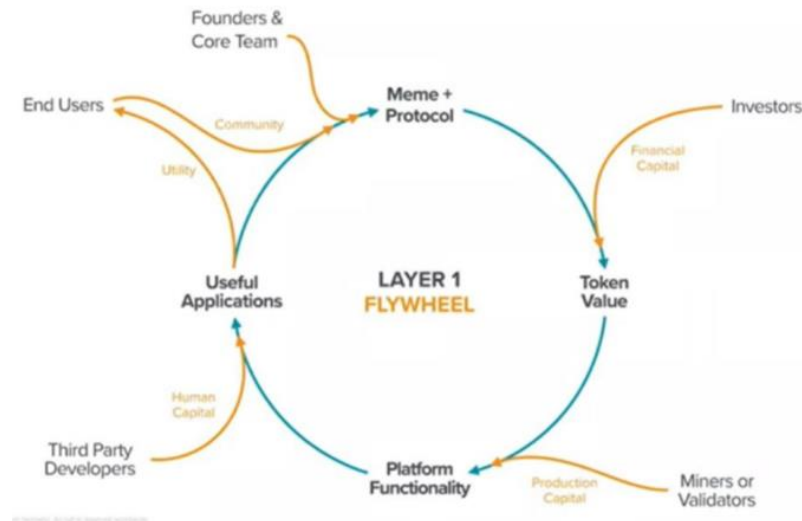


ネットワーク成長において重要な成長ファクターになるのはトークンの価格です。価格の上昇がソーシャルメディアなどで注目を集め人々の関心を引き、新しい人たちが参加することによって新しいアイデアが生まれ、その結果新しいプロジェクトが生まれ成功すると価格上昇の次のサイクルに入るという理論です。



出典: <https://a16zcrypto.com/posts/article/the-crypto-price-innovation-cycle/>

a16zの提唱するネットワーク効果の弾み車



創業者が開発をスタートし投資家がコミットすることでトークンに価値が生まれます。マイナーやバリデーターがネットワークに参加することでプラットフォームが機能性を帯び、第三者の開発者が有益なアプリケーションを作成することでユーザーが集まります。そのため、プラットフォームが強化されさらに多くのコア開発者や資金が集まるという理論です。

出典:

https://a16z.com/wp-content/uploads/2020/05/Ali_Yahya-Crypto_Business_Models_Defensibility.pdf

Startale Labs Pte Ltd All Rights Reserved

- エコシステム作成においてdAppsの数ではなく、dAppsの質が重要となります。（1000個のアプリよりも1個のキラーユースケース）
- 複数のチェーンに展開するアプリよりも、1つのチェーンにネイティブで展開しているアプリが長期的には勝つ傾向があります。

Ethereum

TVL		60,240,000,000	Share
1 Lido	Liquid Staking	12,280,000,000	20%
2 AAVE	Lending	7,010,000,000	12%
3 MakerDAO	CDP	6,700,000,000	11%
4 Curve Finance	Dexes	4,470,000,000	7%
5 Uniswap	Swap	3,610,000,000	6%
6 Convex Finance	Yield	3,430,000,000	6%
7 Compound Finance	Lending	2,610,000,000	4%
8 Coinbase Wrapped	Liquid Staking	2,130,000,000	4%
9 Instadapp	Services	2,120,000,000	4%
10 Rocket Pool	Liquid Staking	1,670,000,000	3%
			76%
Reference		https://defillama.com/chain/Ethereum	

Optimism

TVL		1,210,000,000	Share
1 Velodrome	Dexes	238,120,000	20%
2 Synthetix	Synthetics	149,830,000	12%
3 AAVE V3	Lending	11,015,000	1%
4 Uniswap V3	Dexes	84,630,000	7%
5 Sonne Finance	Lending	80,930,000	7%
6 Beefy	Yield Aggregator	68,430,000	6%
7 Exactly	Lending	58,880,000	5%
8 Curve DEX	Dexes	43,350,000	4%
9 Beethoven X	Dexes	38,450,000	3%
10 Stargate	Cross Chain	36,170,000	3%
			67%
Reference		https://defillama.com/chain/Optimism?tvf=false	

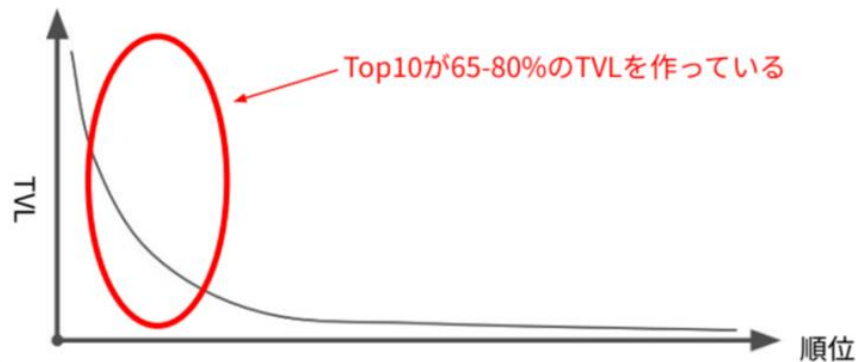
Arbitrum

TVL		3,640,000,000	
1 GMX	Derivatives	900,950,000	25%
2 Radiant	Lending	420,630,000	12%
3 Uniswap V3	Dexes	313,600,000	9%
4 AAVE V3	Lending	214,860,000	6%
5 Chronos	Dexes	121,920,000	3%
6 Sushi	Swap	117,920,000	3%
7 Stargate	Cross Chain	117,800,000	3%
8 Gains Network	Derivatives	116,160,000	3%
9 Curve DEX	Dexes	94,530,000	3%
10 Camelot	Dexes	93,800,000	3%
			69%
Reference		https://defillama.com/chain/Arbitrum	

BSC

TVL		6,500,000,000	
1 Pancakeswap	Swap	2,310,000,000	36%
2 Venus	Lending	1,190,000,000	18%
3 Alpaca Finance	Leverage Yield	495,590,000	8%
4 Radiant V2	Lending	258,800,000	4%
5 BiSwap	Dexes	211,440,000	3%
6 PinkSale	Launchpad	194,880,000	3%
7 Coinwind	Yield	173,620,000	3%
8 Binance staked ET	Liquid Staking	92,210,000	1%
9 UniCrypt	Launchpad	88,800,000	1%
10 THENA		71,480,000	1%
			78%
Reference		https://defillama.com/chain/BSC	

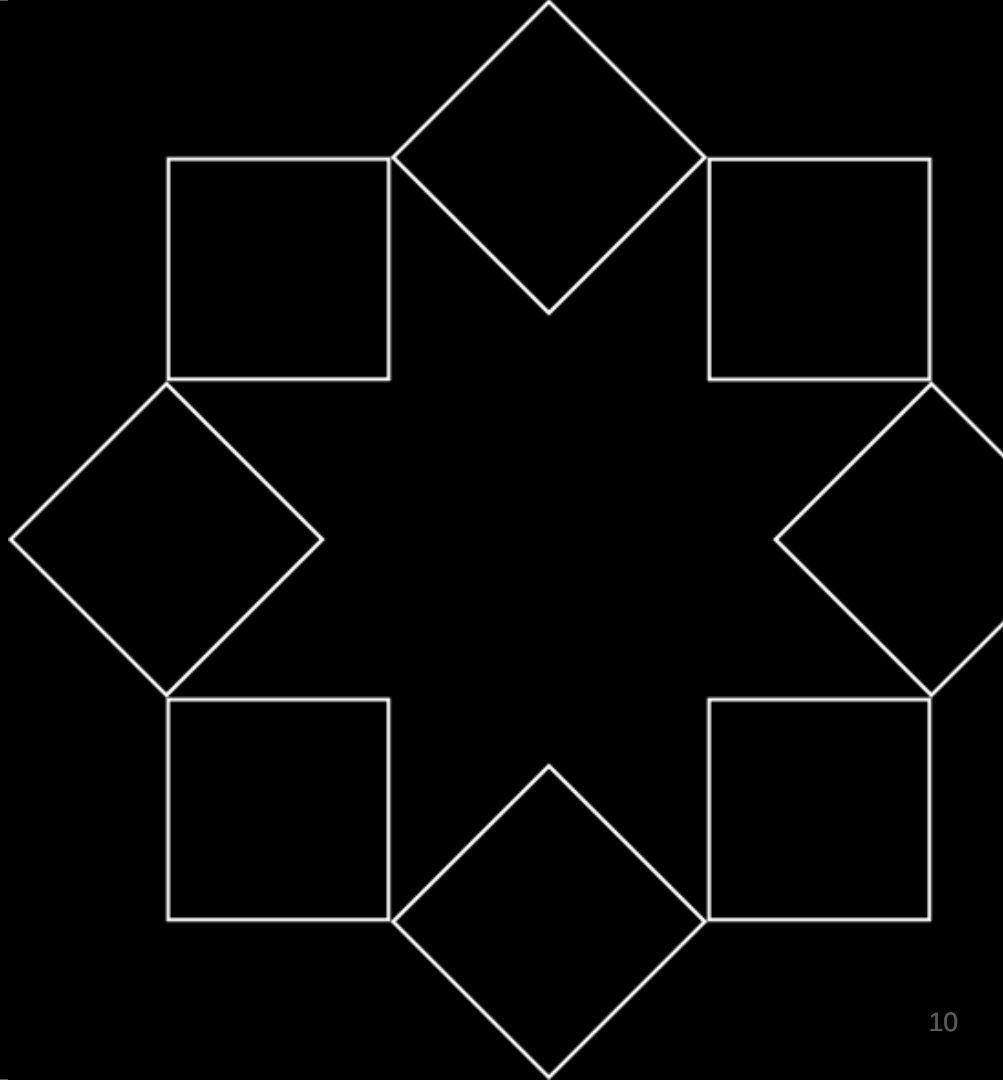
左図は各エコシステムにおけるトップ10プロジェクトと各プロジェクトが占めるTVLのシェア(その他のエコシステムに関しては[こちら](#)を参照)



- L1/L2エコシステムにおいてプロジェクトのTVL貢献度はロングテールであり、パレートの法則が成り立っています。
- 多数のプロジェクトをサポートするよりも、高いクオリティの少数のプロジェクトを伸ばす方が重要です。

- 一般的な「ネットワーク効果」の定義は「多くの人が使えば使うほど製品の価値が高まること」です。
- Startaleでは、メトカーフの法則（ネットワークの価値はネットワークに接続する通信機器の数の二乗に比例する）とアリー効果の閾値（論文：動物の集合体に関する研究。閾値を下回ると個体数が0に収束する）を参照しています。
- アリー効果の閾値に到達するための立ち上げフェーズ、ネットワーク効果が発揮されるグロースフェーズ、市場の飽和フェーズの3段階に分けて戦略を策定できます。
- **立ち上げフェーズ**
 - コールドスタート＝アトミックネットワークの構築（例：Facebook, Airbnbなど）
 - ハードサイドの獲得が重要
 - マジックナンバーを理解する（Airbnb 掲載数300件、レビュー100件）
- **ネットワーク効果が発揮されるグロースフェーズ**
 - 再現可能な成長戦略を見つける
バイラル成長、離脱率の低下、ユニットエコノミクスなどが見え、重要な顧客にフォーカスする
 - 脱出速度を高めるための施策（Paypalのキャッシュバック、Web3のポイント、助成金）
- **市場の飽和フェーズ**
 - モート（参入障壁）の作成（ブランド、独自技術、規模の経済など）
 - バンドル戦略
- それぞれのフェーズのKPIを策定して戦略レベルに落とし込むことが重要となります。

CBDCのエコシステム 構築について



主に5点が大きなエコシステムを構築する上で重要と定義できると言えます。

エコシステム成長における重要なフェーズ分け

それぞれのフェーズにおけるKPIおよびKPI達成のための戦略、また戦略の整合性

成長を加速させるための再現性のある施策の特定

初期段階においてはコミュニティの参加人数よりも参加者の質。初期ユーザーのターゲットングを行い、カルチャーを構築していくことが肝

戦略レイヤーにおける「戦略的不平等」＝ターゲットや施策の淘汰